

第1回奈良県学校・地域パートナーシップ事業研修会 実施報告

- 1 日時・会場**
 【中部会場】平成27年7月4日（土） 9:30～11:30
 県立教育研究所（田原本町秦庄22-1）
 【南部会場】平成27年7月4日（土） 14:00～16:00
 大淀町文化会館（大淀町検垣本2090）
 【北部会場】平成27年7月12日（日） 14:00～16:00
 奈良県立大学（奈良市船橋町10）
- 2 参加者** 146人（中部会場70人、南部会場26人、北部会場50人）
- 3 内容**
 9:30～ 9:35 開会挨拶
 【中部会場の場合】9:35～ 9:55 プレゼンテーション「地域と共にある学校づくり」
 人権・地域教育課 地域教育係
 10:00～11:30 講演
 「子どもが中心となって活動するための支援の在り方」
 奈良教育大学次世代教員養成センター
 特任講師 川野 麻衣子
 11:30 閉会

4 講演概要

① 講演のねらい

- ・「子育て支援」という考え方を知ること。
- ・「子どもに掛ける言葉」を見直すこと。
- ・「子ども中心の大人支援診断ツール」を開発すること。



② 子どもの育ちに目を向ける

「子育て支援」ではなく、子どもが主役という「子育て支援」のとらえ方が大切。自己実現の過程で子どもは成長するので、その場を提供できる子育て支援者となって欲しい。

この立場に立つと子どもの興味に関心を示し、共感し、子どもに思いを尋ね、子どもの願いを引き出す言葉掛けができるようになる。

③ 大人の都合・勝手にならないようにご注意ください

大人が計画して子どもに役割を与えて活動させるよりも、子ども自身が計画を立案し、主体的に活動することが、子どもの成長につながる。

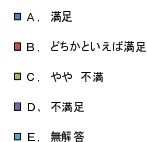
④ 自分たちで作ってみよう！（グループワーク）

「子どもが中心となって活動するための大人の支援」になっているかどうかを診断するツールを開発・作成。

⑤ 成果発表・まとめ

子どもに責任感を持たせ、リーダーシップを発揮させるためには、子どもたちに活動の場を与えることが必要である。

スタッフ（大人）は、頼りになり、楽しく、困った時に助けてくれるメンバーであるという観点を大切にして、子どもと関わっていただきたい。

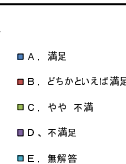


本日の研修会の内容はいかがでしたか。



5 感想

- ・ 子ども主体の観点から考えるのは大切だと気付いた。診断ツールの作成はいきなりの作業だったが、グループのメンバーで協力してできて楽しかった。
- ・ 診断ツール作成を通じて、活発な意見換ができた。



本日の研修会は今後にも活用できるものでしたか。